

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和5年度 第3回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年(令和5年)6月15日(木) 午後6時30分から午後8時30分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：17人(総数21人) 出席者：畠山会長、甘粕副会長、澁谷副会長、甲斐副会長、 徳江委員、甘粕(勇)委員、飯森委員、阪井委員、 藤原委員、小原委員、吉見委員、近藤委員、山口委員 岡田委員、福島委員、桐生委員、塚田氏(三觜副会長代理) 事務局：7人 幸田センター長、森井主幹、笠原、関口、下間、國松、吉岡
報 告	<p>3 報告(資料1)</p> <p>(1) 前回全体会について 議事録の確認</p> <p>(2) 各部会からの報告</p> <p>ア ボランティアセンター運営委員会 令和4年度の収入支出決算、片瀬にここ広場などの事業報告、令和5年度の事業計画及び収支予算の承認を受けた。6月24日のわくわく天国に合わせてボランティアセンターを開放する。カフェについては、継続予定。</p> <p>イ 郷土文化推進部会 前回全体会で報告済のため、報告事項は特になし。</p> <p>ウ 青少年健全育成部会 今年度第1回目の部会が開催され、今年度11月23日に事業実施を予定している、子どもの防災教育についての検討を行った。具体的な内容は、公民館担当とともに、詰めていく。また、各関係団体との連携を予定している。</p> <p>エ 人材・情報バンクセンター運営委員会 新コーディネーターはとても活発に活動している。今までは、各イベントなどの事業にコーディネーターが手伝っていたようだが、本来の活動はお願い団体とできます団体・個人をつなげること。取材には行くが、事業の手伝いは行わない。</p>

<p>報 告</p>	<p>(3) 各地域団体からの報告</p> <p>ア 片瀬地区防犯協会 安全・安心ステーションの午後の見守り活動に福島委員他1人が協力いただけるようになった。福島委員から、藤沢市少年補導委員連絡会の活動で、毎月1日と10日が子どもの見守りの日になっており、安全・安心ステーションで活動したほうが効果的であることから、見守りを行うこととなったことが補足された。</p> <p>イ 片瀬一市民スポーツの会 5月27日にソフトボール大会を開催。15人が参加した。参加者の中には福祉施設から施設長や職員なども参加し、途中、入所者の観戦もあった。6月11日開催のスポーツフェスティバルは、雨天のため、屋外のグラウンドゴルフは中止となり、屋内でストラックアウトなどの種目を実施した。</p> <p>ウ 片瀬地区生活環境協議会 6月に臨時の役員会を行い、会員の日常的な連絡方法として、LINEを活用した連絡体制をとるようにした。</p> <p>エ 片瀬地区交通安全対策協議会 自身が活動している広報ワーキングの片瀬地区ポータルサイトの再起動を行うため、ポータルサイトへ6・7月の活動の予定を更新した。7月4日に、夏の地区推進会議を片瀬市民センターで開催する予定。夏の交通事故防止運動は7月11日から7月20日まで行う。</p> <p>オ 片瀬地区民生委員児童委員協議会 6月から、75歳以上の後期高齢者の現況調査と合わせて敬老会の案内を、83歳以上の対象者に行っている。前月、質問があった避難行動要支援者名簿の活用について、民生委員も名簿を各自保管しており、共助の観点から、自治町内会や行政とも、どのようにするかを検討し、できる範囲で協力していきたい。</p> <p>カ 片瀬地区社会福祉協議会 敬老会を9月26日から28日までの3日間、片瀬地区の83歳以上の方を対象に実施する予定。詳細は現在検討中。</p> <p>キ 片瀬地区青少年育成協力会 7月20日に開催を予定しているデーキャンプの周知を行った。また、7月6日に潮の子フォーラム、7月22日、8月5日に夏期海岸夜間パトロールを開催する。</p>
<p>議 題</p>	<p>4 議題 (1) 令和5年度の活動について(資料2)</p>
<p>議題での検討事項・意見</p>	<p>(1) 若い人が参加したくなる地域について(事務局) 前回全体会で出された意見などを基に作成した資料の説明。</p>

議題での検討事項・意見

役員会で検討した結果、子育て世帯を主なターゲットとする
が、全世代にスマホなどを活用したアンケートを行い、意見を聞き
地域・行政でできることについて検討していきたい。

(澁谷副会長)

最終的には一緒に地域づくりをしていただきたいと思っている
が、初めにまちづくり協議会の話をするとう敬遠してしまうので、
若い世代の方が、自分たちが片瀬地区についてどのように考
えているか意見を出してもらい、地域団体が協力して実現・課題
の解決を行ってほしい。

[主な意見など]

(1) 以前、現役の子育て世代を集めて「子どもをどのようにしたら
地域で見守ることができるか」をテーマに地区集会を実施した
が、子どもを地域で見てほしいという結論になり、子どもの
居場所の確保や遊び場の整備など、ハード面の要望ばかりで、
まちづくり協議会の当初の狙いとは異なる方向となってしま
った。まちづくり協議会として出た意見を解決できるレベルでは
なかった。アンケートを取るのも良いが、期待を持たせない方向
が良い。

(2) アンケートを取るのには良いが、すぐに分析してフィードバック
したほうがよい。

(3) 若い人がどのようなことを考えているかを広く知るためには
アンケートを行った方がよい。地域で解決することと行政に要望
することをきちんと仕分けることが必要である。

(4) アンケートを取るのもよいが、顔と顔を合わせて話した方が課
題などの共有ができる。

(5) 以前の地区集会で子どもをテーマとしたときにも子ども会を
通じて保護者に参加をお願いしている状況。

子どもの防災教育として、青少年健全育成部会では、両親共働
きで、子どもが家で留守番している時に災害が起きた場合などの
対応について、親子を対象に防災探検隊の事業を公民館と共同で
実施する。若い世代がどのような視点で何を望むのかを知る必要
がある。

(6) 若い世代に聞きたいことは、片瀬地区をどう思うか。ボラン
ティア活動についてどう思うか。片瀬地区に何を期待するのか。
または、地域の活動などに興味を持っていない人がどのように思
っているか。若い人は何を考えているかを知りたい。

先日、片瀬地区社協で取ったアンケートについて、年代の偏り
は多少あるものの、意外と片瀬地区に期待している。ボラン
ティアもやりたいとは思っているが、時間的な理由などによりでき
ない人もいる。既存の地域団体の活動に捉われず、個人でも得意
分野を生かし、地域の中で子どもとのふれあいをしたい人がい
れば、その活動は尊重したい。若い人の意見を拾わないと考え
方が凝り固まってしまう。

- (7) 地区社協のアンケートは幅広い年代層に声をかけた大規模な調査で、現実を知るにはとても良い資料となっているが、20代、30代の回答者はほとんどいない状態だった。アンケートを見ると、多くの方は世間話をする程度の近所づきあいは必要だと考えており、その程度の距離感で満足している。
- (8) 今までには地区レク等を通じて地域に戻って隣土士の付き合いなどがあつたが、若者は地域に戻らず、それぞれの形で知り合いになっており、知らない人達はそこに入り込みづらい。SNS等を活用しコミュニティを形成しており、そこにどう取り込んでいくかが課題。パワーのある方に若者とのつながりのきっかけを作ってもらったり、片瀬の歴史について、子どもを連れて探検したりすることでお互いが顔見知りになり、馴染んでくれば話もしやすくなる。少しずつ動いていくことが必要。
- (9) アンケートを取る中で、具体的にやりたいことを聞いてみて実現するのはどうか。また、東京に住んでいた時には、コミュニティスクールとして、学校を開放しており、地域の方が学校を活用し各々の得意分野を生かし、囲碁や将棋等を子どもたちと一緒にやっている。本来のコミュニティスクールなのではないか。
- (10) まちづくり協議会の活動をふれあいまつりの中で展示するとともに、アンケート調査などを行ってはどうか。
- (11) 息子にも聞いたが、若い世代はとにかく時間に余裕がないとのことだった。若い方の意見を集約する手段としてはアンケートが良い。ただし、アンケートで終わらずに、結果を基に具体的なアクションを行う必要がある。7月に青少協で行う潮の子フォーラムは、生の声を聞く場として、ふれあいまつりでの展示やアンケートなどに生かしていけたらよいのでは。
- (12) 若い人は面白くないと集まらない。
- (13) 地区集会に人が集まるためには、飲食などもあり、気軽に楽しめる環境づくりが必要なのではないか。
- (14) 地区社協が行ったアンケート調査の結果を年代別に分解する等クロス集計をしたらより具体的になるのでお願いしたい。
- (15) 若い人は時間的に拘束される地域団体の活動には興味がないが、クリーンキャンペーンなどの単発の事業にたくさんの方が集まっていることから、ボランティア活動自体には興味がある。地域団体に属さず、JJBCに登録する人がもっと増えれば、結果として地域活動も活発になる。まちづくり協議会の活動をPRする場として、ふれあいまつりの模擬店が地域団体で早期に終了する場合もあるので、空いたテントを有効活用し、活動をPRできる場を設けても良いのでは。
- (16) 地域の愛着を育てるのがまちづくり協議会の役割だと思っている。アンケートを取ることも有効だが、直接顔を合わせて話したほうが、後々まとまりもよくなる。
- (17) 高齢者にもアンケートを取るのであれば、若い頃、感じていたことなどを聞いてみることも良い。

	<p>(18) アンケートを取るのであれば、片瀬こまや片瀬餅つき唄のことなども聞いてみてはどうか。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>次回までの 確認事項</p>	<p>7月の全体会では、アンケート等具体的に決定する。</p>
<p>次回会議 開催日時・場所</p>	<p>全体会 日時 2023年7月21日(金) 午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール</p>